

飯島賢二の 『恐縮ですが...一言コラム』

第 283 回 夫婦円満のコツ、いかがなものか？？

2008.11.2

参与員として扱う裁判は「離婚訴訟」。裁判官と一緒に公判に立ち会う訳だが、職業法曹人でないゆえ、終わったあとは、ぐったりとした疲労感が残る。惚れ合って結婚し、子供までいるのに、いがみ合い罵り合う裁判の場面は、ドラマのようにかっこ良くない。

そんな彼らに送る、夫婦円満のコツ、いかがなものか。

まずはNHKの番組で、「鶴瓶の家族に乾杯」という番組から。年をとって奥さんに離婚されない秘訣ということで、次の3つの言葉、「ごめんなさい」「ありがとう」「大丈夫？」の3つである。これは、まさに夫婦円満のための魔法の言葉かもしれない。

坂田道信氏（『ハガキ道』PHP研究所より）によれば、夫婦円満のコツは、妻を菩薩にすること。昔の男たちは、妻を女中代わりにこき使っていた。しかし、現代は女性も社会的に大きな貢献をしている。時代は確実に変わったにもかかわらず、夫婦関係は以前のまま。これでは、夫婦仲が良くなるはずがない。定年退職して退職金を手にした途端、永年連れ添った女房に逃げられる。当然の結末といわざるを得ないだろう。妻の美点発見に努め、妻を菩薩にする以外、夫婦円満のコツはないのである。この覚悟ができない人は、夫婦円満になる資格がない...との見解である。（フムフム φ(°Д°)）

AllAbout 主催「夫婦円満の秘訣」のランキング・ベスト5。コメントなしにそのまま掲載する。5位「干渉しすぎない」、4位「おいしい食事」、3位「感謝すること」、2位「思いやり」、そして注目の1位は1位「会話」であった。

これらと少し趣が違うのがVEフランクル（Viktor Emil Frankl オーストリアの精神科医、心理学者）の話。結婚直後はお互いに、あばたも笑窪に見える。3~4年たつとあばたはあばた、笑窪は笑窪に見える。更にしばらくたつと...笑窪もあばたに見える。それは夫婦がお互いの顔を見つめ合っているからだ。夫婦円満のコツは、お互い見合わせるのではなく、目指す方向を二人で見つめていくこと。将来に向かって、目標を見つめ合うことである。渡り鳥の「V字編隊飛行」（詳細は来週号）に相通ずるところがある。

そして小生、夫婦円満の秘訣は、この都々逸にあると確信している。まずはご紹介。

けんかしたとき この子をごらん 仲のよいとき 出来た子だ
わしとおまえは 羽織の紐よ 固く結んで 胸に置く
ぬしと私は 玉子の仲よ わたしゃ白身で きみを抱く
あんな女が どうしていいの おまえに似ている とこがいい
嫌いなお方の親切よりも 好きなお方の無理がよい
ひとり笑うて暮らそうよりも 二人涙で暮したい
惚れた証拠はお前の癖が いつか私の癖になる
こんな亭主にゃチトあきたけど 何んせこちらもかなり年

お後がよろしいようで...